

平成25年度 全国体力・運動能力、運動習慣等調査結果 **概要**

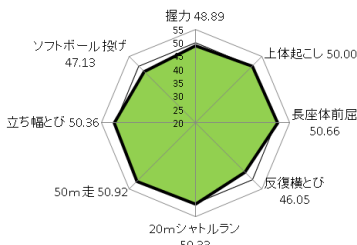
高槻の子どもたちの体力

平成25年度 全国体力・運動能力、運動習慣等調査 実技に関する調査の結果 <高槻市>

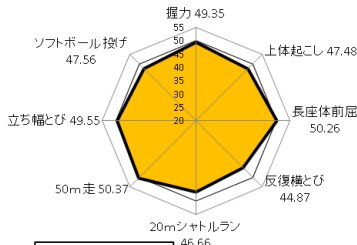
文部科学省では、全国的な子どもの体力の状況について詳細な把握・分析を行うことを目的として、平成20年度より「全国体力・運動能力、運動習慣等調査」を実施しています。

平成25年度 高槻市平均値と全国平均値の比較
<全国平均値を「50」とした場合のレーダーチャート>

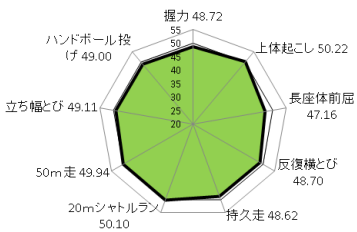
小学校5年男子



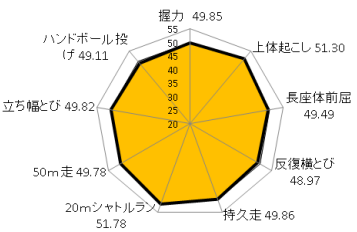
小学校5年女子



中学校2年男子

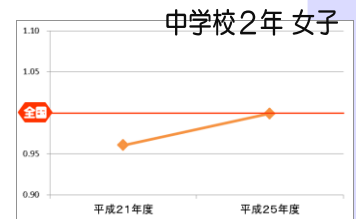
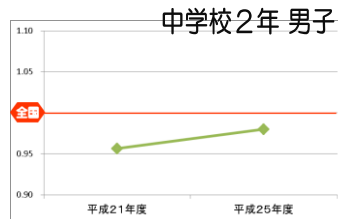
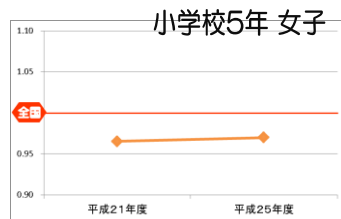
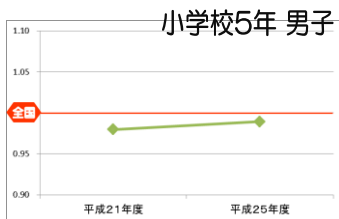


中学校2年女子



体力合計点の推移

全国平均値を「1」とした場合の高槻市平均値の推移 (対全国経年比較)



※ 皆実施年度の結果を経年比較しています。

これまでの高槻市における体力・運動能力、運動習慣等調査の結果から、高槻の子どもたちの体力は全体的に向上傾向にあります。しかし、種目別にみると、敏捷性や全身持久力などに課題がみられます。

高槻市では体力向上に向け、今後も子どもたちの運動機会を充実する取組を進めてまいります。

《体力向上に向けた取組》

小学校駅伝大会・小学校サッカー大会・小学校ミニバスケットボール大会・なわとび検定
中学校総合体育大会・中学校部活動外部指導者派遣事業 など



「子どもにとって**体力**とは」
体力は、人間のあらゆる活動の源であり、健康な生活を営む上でも、また物事に取り組む意欲や気力といった精神面の充実にも深く関わっており、人間の健全な発達・成長を支え、より豊かで充実した生活を送る上で大変重要なものです。



「子どもの体力向上」ホームページより

<http://www.recreation.or.jp/kodomo/>

小学校5年男子	握力(kg)	上体起こし(回)	長座体前屈(cm)	反復横とび(回)	20mシャトルラン(回)	50m走(秒)	立ち幅とび(cm)	ソフトボール投げ(m)
H25 全国	16.6	19.5	32.7	41.4	51.4	9.4	152.1	23.2
H25 高槻市	16.3	19.5	33.2	38.1	51.8	9.2	153.2	21.9
全国との差	-0.3	-	0.5	-3.3	0.4	0.2	1.1	-1.3

小学校5年女子	握力(kg)	上体起こし(回)	長座体前屈(cm)	反復横とび(回)	20mシャトルラン(回)	50m走(秒)	立ち幅とび(cm)	ソフトボール投げ(m)
H25 全国	16.1	18.1	36.9	39.1	39.7	9.6	144.6	13.9
H25 高槻市	15.9	17.2	37.1	35.5	37.0	9.6	143.2	13.3
全国との差	-0.2	-0.9	0.2	-3.6	-2.7	-	-1.4	-0.6

中学校2年男子	握力(kg)	上体起こし(回)	長座体前屈(cm)	反復横とび(回)	持久走(秒)	20mシャトルラン(回)	50m走(秒)	立ち幅とび(cm)	ハンドボール投げ(m)
H25 全国	29.2	27.6	43.1	51.1	393.9	85.0	8.0	193.7	21.0
H25 高槻市	28.5	27.7	40.7	49.8	405.1	85.2	8.1	190.2	20.6
全国との差	-0.7	0.1	-2.4	-1.3	-112	0.2	-0.1	-3.5	-0.4

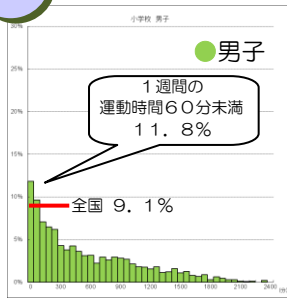
中学校2年女子	握力(kg)	上体起こし(回)	長座体前屈(cm)	反復横とび(回)	持久走(秒)	20mシャトルラン(回)	50m走(秒)	立ち幅とび(cm)	ハンドボール投げ(m)
H25 全国	23.8	23.0	45.1	45.3	292.7	57.2	8.9	166.2	13.0
H25 高槻市	23.7	23.6	44.7	44.3	293.5	59.2	8.9	165.6	12.7
全国との差	-0.1	0.6	-0.4	-1.0	-0.8	2.0	-	-0.6	-0.3

平成25年度 全国体力・運動能力、運動習慣等調査 児童生徒質問紙調査の結果 <高槻市>

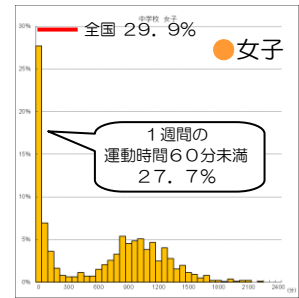
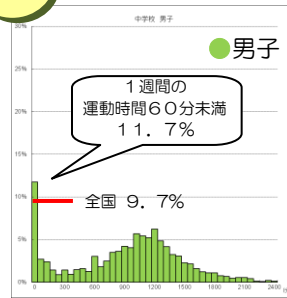
平成20年度からの実施されている全国体力調査の結果からは、運動やスポーツをする子どもとしない子どもの二極化が明らかになっています。高槻市においても、1週間の総運動時間の分布は、運動をほとんどしない児童生徒が多く、特に女子において顕著となっています。

1週間の総運動時間の状況

小学生



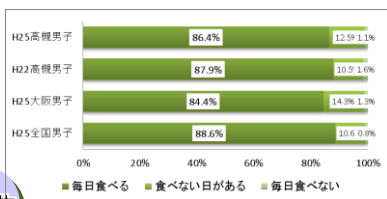
中学生



朝食の摂取状況

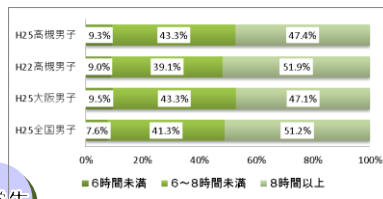
1日の睡眠時間

小学生



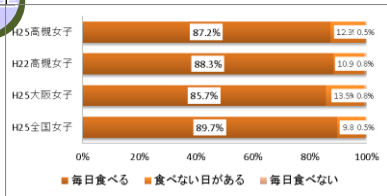
「毎日食べない」は全国と比べ0.3ポイント上回った。
平成22年度と比べ0.5ポイント改善された。

小学生



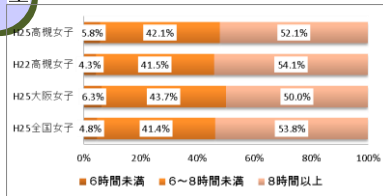
「6時間未満」は全国と比べ1.7ポイント上回った。
平成22年度と比べ0.3ポイント増えている。

中学生

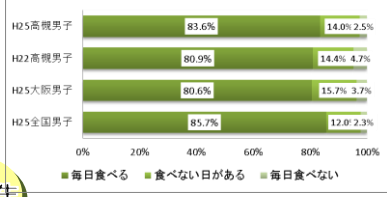


「毎日食べない」は全国と比べほぼ同じであった。
平成22年度と比べ0.3ポイント改善された。

中学生

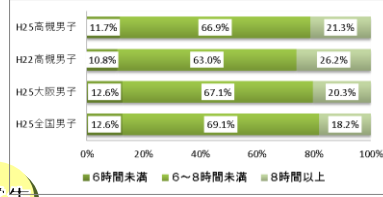


「6時間未満」は全国と比べ1.0ポイント上回った。
平成22年度と比べ1.5ポイント増えている。

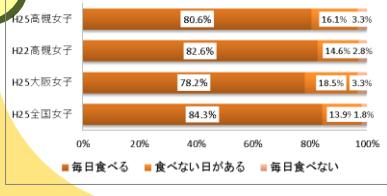


「毎日食べない」は全国と比べ0.2ポイント上回った。
平成22年度と比べ2.2ポイント改善された。

中学生

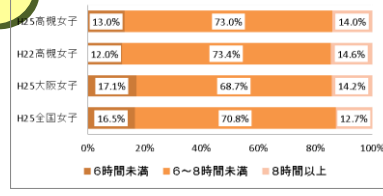


「6時間未満」は全国と比べ0.9ポイント下回った。
平成22年度と比べ0.9ポイント増えている。



「毎日食べない」は全国と比べ1.5ポイント上回った。
平成22年度と比べ0.5ポイント増えている。

中学生



「6時間未満」は全国と比べ3.5ポイント下回った。
平成22年度と比べ1.0ポイント増えている。

生活習慣と体力の関連性は、朝食摂取、睡眠時間のそれぞれを改善すれば体力が向上するという直接的なものではありません。規則正しい生活習慣が体調のよい健康的な体を育むとともに、日常の学校を中心とした活動に意欲的に参加することができ、結果として体力の向上に結びついていることが考えられます。

